

# 愛 労 連

## 愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18  
労働会館第2ビル  
TEL 052-871-5433  
FAX 052-871-5618  
e-mail airouren@lilac.ocn.ne.jp  
発行人 見崎徳弘

第77号 1999年9月20日

## 第21回 定期大会特集号

### 愛労連第21回定期大会



愛労連は、第二回定期大会を名古屋市南区・サン笠寺ホールで開きました。  
大会では、戦争法反対や愛知県知事選挙など、国民・県民の共同がなくてはならないことに確信を持ち、職場や地域から暮らしと雇用を守り、憲法擁護・政治の転換を実現する運動に全力を挙げようという意思統一しました。

# 雇用確保・介護拡充・戦争法発動阻止・県政の民主的転換

## 四課題で

### 秋闘

# 大運動を！

## 一致する要求で大同団結を

大会では、小林洋一全労連議長が来賓挨拶し、「県知事選挙や地労委裁判など、愛労連をはじめとする愛知のたたかいは、全国を大きく励ましている。」と激励しました。

### 労働組合の出番！

阿部精六愛労連議長は、戦後最悪の失業状態が続く中、リストラ・生活苦による中高年の自殺者が増大。労働者・国民のおかれている厳しい状況を述べ、それだけに愛労連への労働相談でも新聞の調査でも、労働組合への期待が高まっていると述べ、愛労連運動一〇年を踏まえ壮大な運動の展開を呼びかけました。

### 4つの課題で大運動を

見崎事務局長は、二〇〇〇年度運動方針と秋年末闘争方針を提案。結成一〇年の財産を踏まえ、「すべての労働者・労働組合との対話と共同」でこの秋 ①雇



用・反失業・リストラ対策闘争 ②介護保険の改善 年金改善反対など社会保障闘争 ③憲法違反の戦争法の発動阻止 ④補助金カット反対、万博・空港を見直し、など県政の民主的転換の四つの大運動を展開することを提案しました。また賃金闘争では、未組織労働者や不安定雇用労働者を幅広く結集する春闘をめざす立場から、賃金の底上げ・最低保障をより強化してい

く方針を提起しました。討論では三名の代議員が、大会方針を豊にする立場で発言し、たたかいへの決意あふれた大会となりました。

また、争議団紹介では、「国鉄闘争を始め、すべての争議の早期解決」を確認し、JMIUに加盟したばかりの木村刃物の仲間も参加者から激励されました。大会方針、新役員などを決定し終わりました。

### 九九年度新役員紹介

副議長	阿部 精六	全国一般
議長	伊豆原 直	自治労連
	加藤瑞美子	港地区労
	土井 照雄	港地区労
	中川 量機	国公
	羽根 克明	自治労連
	堀川 侑男	運輸一般
	渡辺 博子	婦人協(愛高教)
事務局次長	伊藤心づを	建設一般
幹事	永井 和彦	自治労連
	青木 信一	全動労
	板倉 邦之	年金者組合
	牛田 正美	全印総連
	大田 孝雄	タクシィ協議会
	尾崎 吉政	東三河労連
	小野 能弘	検査労連
	河井 孝徳	さすな
	国村 佐一	全国一般
	樽松 佑文	全労連
	近藤 啓志	愛高教
	杉江 功	知多地域労連
	田上 光徳	自治労連
	田中 道代	愛労連職組
	玉置 重光	千種・名東労連
	仲野 智	福保労
	原田 敏之	JMIU
	平田 茂	尾中地区労連
	堀 勝	名中センター
	松原 勝己	豊田・加茂労連
	宮沢 久孔	国公
	伊藤 景子	婦人協(自治労連)
	森 雅子	青年協(自治労連)
会計監査	加藤 栄治	名中センター
	牧野 浩	国公
	山田喜久雄	銀産労

退任された役員のみなさん  
副議長 三宅一光(自治労連) 副議長 大橋路代(婦人協・愛高教)  
幹事 伊藤恵美子(建設一般) 幹事 杉本一夫(千種・名東労連)  
会計監査 森岡正

## 介護キャラバン

10月18日〜22日  
88自治体訪問

## の成功を！

# 暮らしと雇用を守り

# 憲法擁護・政治革新へ

代議員発言要旨

討論では、戦後最悪の不況が続く中、低額回答、労働条件の切り下げ、人員削減などが、職場内外での対話と共同を広げる中、運動を前進させた貴重な取り組みが報告されました。また、逃げ場がない厳しい実態が労働者の決意を促し、立き寝入りせず労働組合を結成し、たたかう仲間が増えていくとの発言もありました。情勢は激変。大胆に「共同」を広げれば、要求前進のチャンスがある。たたかう決意のこもった大会となりました。

## 厳しい賃金・雇用状況だが 攻勢的にたたかえば要求は前進



来春闘に向けて、春闘アンケートの指示が出ています。方針案では地域や未組織に大きく打っていかないで、個別職場でのたたかいだけで、もう情勢は切り開いていけないと提案されているが、具体的にどう取り組んでいくのか、議論が必要。一年前にも「絶対対話と共同」の運動が提起されたが十分な総括がされていない。方針に見合った議論をし、具体化を図って欲しい。

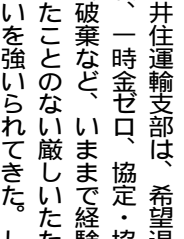


春闘で交渉して壁にぶつかると、賃上げは定算のみ、人員削減など逆提案がされ、壁を突破するのは本当に難しい。人勤の影響もみられ、秋の一時金闘争も困難を強いられそう。この秋の職場の運動とあわせて、大きな流れをつくる運動の結合が必要。職場の思いは二分されているが、断固としてたたかう方針を提起した時は要求が前進した。職場の要求と雇用・リストラ運動をどう連携させるのか、十分な議論を、対要求では、職場の実態とかみ合わせた交渉、要求の提出、署名の取り方など工夫を、職場から意思統一をして運動を作っていく。

## 情勢は大きく変化！ おもいきり対話と共同を広げよう



先の通常国会では、憲法が次々に通され、一見やられたように見えて、地域は激変している。知事選挙や一地方選挙でその姿がよく見えた。革新つばしの力が崩壊し、戦後第二の革新自治体建設の到来期を迎えた。と言われている。名古屋市議会でも自民党議事団が、「地域経済をつぶすな」の意見書を出した。市医師会長が「乳児医療の拡大」を陳情した。自民党を支える層も大きく変わってきている。地域で矛盾をいっそう深めている介護保険は、三八〇〇億円の負担増を検討している。自民党が譲歩し始める。介護の学習会をやらせ、一〇〇％成功する程だ。介護問題は自民党政治の弁慶の泣きごと。大いに攻めていく。



愛労連の四課題と合わせて 賃金確定闘争、組織拡大 の六つの課題で秋の運動を すめている。いま単組回 りをしているが、果の賃金 カットは、市町村へも影響 を与えた。人勤のマイナス 動向は多くの組合に、あき らめや情勢だから仕方ない という気持ちにさせている。 この気持ちを怒りに変 える運動にしていきたい。 確定闘争では家族やのみ の秋の署名を提起している。



「産業再生法」は国が大 企業のリストラを促進する ための法律だが、この法律 を先取りしてNCRやIB Mでは、分社化や子会社化 をして労働者をリストラし ている。NCRでは配転を 拒否した組合員を一部雇 用に押し込め、仕事を取り上 げている。さらに医療・年金 ・介護の財源を消費税増税 で求めることが検討されて いる。正念場になるこの運 動に積極的に参加し、貢献 したい。



いま人が集まるのは介護 保険。私の住む地域で、区 長が呼びかけて勉強会をや ったら九〇人も集まった。 年金者組合も地域で学習会 やっているが、いっつも予想 に反してたくさん人が集 まる。改善運動をす ればするほど世論を大きく 変えるチャンスだ。 年金は二〇年間で徐々に 改善され、こんどの五カ年 間で支給額が三〇％カッ トされたことになる。 社会保障の現在、将来不 安は、国民の中にみなぎっ ている。



政府はアメリカの言うま まに、金融リックパンで、 金融業界を再編成し、その ツケを中小企業や国民に回 す。一方、銀行が作った債金 を税金で六十兆円も保障し ようとしている。 この一年、四大証券は、 倒産、吸収・合併など編成 され、中小の証券は自主廃 業や倒産に追い込まれ、労 働者の職場が奪われている。また、職場の解雇再雇 用の資金タウンなどもお こり、各地でたたかいが始 まっている。アメリカ、財 界本位の政治をやめさせる ため、金融労働者の立場か ら、大同団結して署名行動 など取り組んでいきたい。



争議団紹介

9・14県庁包囲行動も二〇〇人規模で成功させた。共同する会や県関係五 団体に呼びかけている が、「ぜひ参加したい」と いう予想を上回った回答も ある。この集会を秋の運動 の弾みにしていきたい。

大会では三名の代議 員から発言があった。一 日大会なので、掘り下げ た議論ができないと注文 がでた。より深い情勢分 析と意思統一をしていく ために、今後様々な機会 を保障することを確認し ておく。 代議員は基本的に原案 賛成の立場で、方針を補 強する発言だった。幹事 会として今後の運動に生 かしてい

幹事会総括答弁 見崎事務局長

第一に、情勢は大きく変化してきている。この情勢を攻勢的にたたかえば、職場や地域を変え、チャンスを大きく広げることが明らかになる。たゆまぬ努力を、いかにして実現させるか、これが最大の課題。この情勢を攻勢的にたたかえば、職場や地域を変え、チャンスを大きく広げることが明らかになる。たゆまぬ努力を、いかにして実現させるか、これが最大の課題。



戦後最悪の失業状態が続く中で迎えた今日の大会では、これからのたたかいを具体化し、全組合員が参加できる方針を練り上げることにあります。いま日本の現状は自殺者が三万一千七百人、労災は八千四百人、交通事故やいじめで年間六万人の人の命が奪われる状

## 労働組合への期待を背に、壮大な運動を



阿部議長 あいさつ (要旨)

銀行は優先的に債権を回収し、その結果、労働者の退職金は三分の一に値切られました。たまりかねて、連合の組合を脱退し、JMIUに加盟してたたかいはじめました。県や基準局は、労使の合意がある以上しかたがない、といっています。社会的には許されま

## 要求実現の要は組織拡大・強化 10万人愛労連の早期達成を!



若い人は一〇年後の夢が描けない状況にあるが、自己啓発セミナーに多くの若者が参加しているも現状だ。こころの青年の問題を組合の中で見つけ直す必要がある。組織拡大は、下りのエスカレーターを昇るたたかい。多忙の中で拡大を後回しにしたが、情勢学習会をすすと、増やさんとい



地域から見た克服すべき組織課題を述べたい。愛労連運動では、単産・地域は対等という理念があるが、現実には金も人も単産中心。西三河労連は八〇〇人の組織だが、全部地域結集をすれば、四〇〇〇名になるはず。



強化の努力をお願いしたい。西三河ブロックでは、三月〇・二二日、七カ所での労働相談を取り組んだ。その総括を踏まえ、ブロックの総会では、事務所・専従体制を決める、日常的に相談活動をする、ことを確認した。十月からの事務所を開き、労働相談日を設定し、地域での未組織の組織化を含め、労働者の駆け込み寺をめざす。



若い人が集う場がない。悩みを抱えたまま職場を辞めていく人も多い。組合活動は、「忙しいうかりでイヤだ」という人がいる。中、人と人の関係を作る場として青年部結成をめざしてきた。そして、リレーションを中心に、やりがい、つながり、学びの場、学習基地で、ヒラマキ・組織相談をやってきた。この結果、セイリョウライン、常滑量機、共同興産が組合結成。九月七日、十一日にモスクレーン関係の組合が結成される。未組織労働者を結集しなければ、自分たちの要求は実現できない。これから組織化にむけが



運賃のダンピング、高速道路の値上げ、消費税の増税などの政府・大企業の悪政のもと、中小企業は、経営危機を労働者に転嫁し、乗り切ろうとしている。企業内組合の運動ではもう限界。対政府要求などで事業所訪問をする、すいぶん話を聞いてくれるまでに変化している。トラックセンターや石油

## 大会発言者(32名)

- 倉知代議員/建設一般 堀池代議員/福保 桜井代議員/西三河労連 栗生代議員/岡崎 福保 堀池代議員/近藤代議員/映産 黒島代議員/全国一般 加藤代議員/医労連 田村代議員/JMIU、福田代議員/自治労連、吉原代議員/自治労連、原田代議員/東三河労連、横山特別代議員/婦人協、原田代議員/自治労連、二村代議員/愛高教、中川代議員/自治労連、茶屋代議員/年金者組合、鬼頭代議員/愛知国公、森代議員/医労連、駒田代議員/年金者組合、森代議員/運輸一般、堀池代議員/名中センター、田中代議員/愛高教、長尾代議員/福保 村瀬代議員/一宮 芳連、藍原代議員/運輸一般、佐藤代議員/全動 労、赤塚代議員/尾中芳連

99秋年末闘争

対話と共同を広げ 四課題をみんなの力で実現しよう

愛労連は、公務員の賃金確定闘争と一時金闘争を結合しながら、この秋、緊急に取り組むべき四つの課題で運動を広げます。

地域で介護学習会をやれば100%成功といわれるように、私たちが、県民や労働者と一致する要求で共同を広げれば、要求実現のチャンスは大きく広がります。職場や地域で学習を深め「共同」の運動を前進させましょう。



第1 雇用拡大・反失業・リストラ反対

すべての労働組合との共同で

工業出荷額全国一の愛知でも、最近の落ち込みは急激です。不況による中小企業の経営難や倒産で、雇用の失業状況は深刻になっていきます。愛知県の求人倍率は〇・五四％に落ち込み、世界のトヨタの所在地、豊田市でも失業者があふれています。また来年就職予定の高校生の求人数は、昨年の四二％で高校生の就職も厳しさを増しています。

急激に増えている愛労連の労働相談で、「解雇」「パートの雇止め」「賃金不払い」「労働条件の一方的切り下げ」など労働者の悲痛な叫びが聞こえてきます。また、JMIU・木村刃物の企業閉鎖、日本IBMやNCRのような分社減らしの横暴を許さない世

論と運動を地域から大きく広げることが必要です。また、政府が緊急雇用対策として「三〇万公的就労事業」を発足させました。愛労連は、県に失業者や働きたい人の生活を守るための有効な制度となるよう申し入れをしています。職場や地域で労働時間短縮、サービス残業の規制など働くルールを守るための運動を強めましょう。

第2 介護保険拡充・年金改悪反対

地域要求持ちより自治体への運動を

来年四月から介護保険がスタートします。いま「本心に安心して介護を受けられるのだろうか」、不安と危惧が市町村や県民・利用者、福祉関係者から大きく広がっています。介護保険を「保険あつて介護なし」にしないために、圧倒的に不足しているホームヘルパーや特別養護老人

ホームなどの介護基盤を早急にすすめることが大切です。また、四〇才から強制的に徴収される保険料、介護サービスを受けたら払う一〇％の利用料は、所得の低い人への減免制度や利用料負担への助成制度の創設が必要です。介護保険で自立と認定された人に対するホームヘルプサービスやデイサービス、生活を援助する配食サービスや介護手当の引き上げなど高齢者・障害者を対象とした福祉制度の充実なども必要です。一〇月から認定作業が始まります。安心できる介護保障の確立にむけてこの

秋の運動が焦点です。また、年金支給開始年齢の六五才切り下げ・賃金スライドの廃止や給付水準を五％切り下げる年金改悪法も秋の臨時国会や通常国会で本格的議論になります。社会保障の改悪を許さず、充実の運動をすすめていきましょう。国に対する年金・介護の署名を家族にも広げ、一人五筆の署名を集めましょう。組合や地域での介護や年金の学習会に積極的に参加しましょう。市町村に対して、介護保障拡充の運動に取り組みま

第3 補助金カット反対

県政の民主的転換を

愛知県はゼネコン・大企業本位の開発行政が招いた「財政赤字」のツケを、万博・新空港はそのままだし、私学助成や福祉・医療など、県民のいのちや暮らしにかかわる分野での補助金カットをはじめ、県職員

一定削減幅を縮小することができましたが、すでに、来年度予算での高齢者・障害者・乳幼児を対象にした福祉医療制度や介護手当などの福祉制度をターゲットにした補助金カットの動きが強まっています。また、地労委民主化闘争では、五月十二日に名古屋地裁で「県は労働者・労働組合に支持されるような合理的な選任方法を検討するよう望む」と改善を求める画期的な判決が出されました。この十二月には、いよいよ第三十五期の労働者委

員の選任がおこなわれまが、秋年末闘争では、県民が主人公の民主的な県政への転換に向けて運動をすすめていきましょう。補助金カット反対、県民のいのちと暮らしを守る運動を広げましょう。補助金カット反対要求署名を十一月一月議会に向けて取り組みましょう。十二月の第三十五期労働者委員の公正な選任を求める一〇万人署名を取り組みましょう。

第4 戦争法発動を許さない

11・21小牧基地包囲行動の成功を

米軍による民間空港の使用、小牧基地や高蔵寺弾薬庫の強化など、危険な動きが目立ちます。戦争法を発動させない職場・地域からの取り組みが大切です。

11・17愛知総行動

地域の世論を変えよう

職場・地域から 総対話と共同を
組合員が切実な要求や思いを出し合えるように職場や地域での学習と討論をしよう。
宣伝行動や署名行動に積極的に取り組もう。
自治体訪問・要請・意見書採択などの運動に取り組もう。
10月18日～22日の介護を中心とする自治体キャラバンに単産・地域から積極的に参加しよう。
単産は地域結集し、すべての労働組合へ訪問し、共同の呼びかけを広げましょう。

99秋年末闘争 とりくみ行事と日程

Table with 3 columns: Date, Event Name, Location/Details. Includes dates from 10/1 to 12/5 and various activities like 'National Day Action', 'Autumn Campaign', etc.